



2022年1月17日

各位

会社名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 船橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

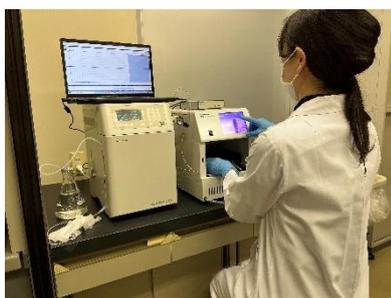
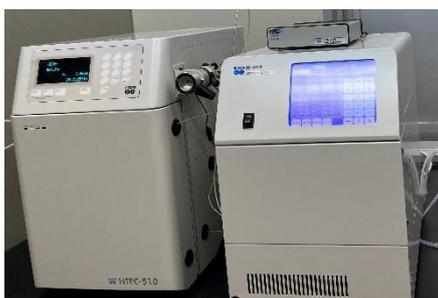
当社連結子会社の(株)新薬リサーチセンターにおける 「微量生体試料分析装置 HPLC-ECD/HTEC-510」導入に関するお知らせ

当社連結子会社の株式会社新薬リサーチセンター（代表取締役社長：福永 健司、東京都千代田区以下、新薬リサーチセンター）は、非臨床試験サービスにおける微量生体試料分析に対応する装置 HPLC-ECD/HTEC-510 を導入し、2022年2月より試験受託を開始いたしますので、お知らせいたします。

新薬リサーチセンターは、中枢系疾患のモデルとして、アルツハイマー病モデルの APPOsk マウス^{※1} や老化促進マウス、ストレス負荷モデルを用いた試験やマイクロダイアリシス法^{※2} などの薬理試験を提供しております。このたび、当該微量生体試料分析装置を導入したことにより、上記の既存サービスに加え、神経伝達物質^{※3} の定量解析の受託が可能となります。同装置は、HPLC-ECD システム一体型となっており生体内の神経活動の経時的変化を観察するのに適した高感度分析計であり、脳内マイクロダイアリシス透析液の分析、脳ホモジネートを用いたドーパミン・セロトニン定量、血中または尿中カテコールアミンの定量などが可能となります。

今後も、当社グループは、強固な財務基盤及び事業収支を背景に、更なる拡大成長に向け創薬支援事業における研究開発、設備投資及びM&Aへの積極的投資を推進し、事業拡大を図ってまいります。

微量生体試料分析装置 HPLC-ECD/HTEC-510



- ◆ご参考：
- ※1 APPOsk マウス
家族性アルツハイマー病患者から見出したアミロイドβ前駆体タンパク質（APP）の遺伝子変異をもつアミロイドβを導入したトランスジェニックマウスです。このモデルマウスは、アミロイドβオリゴマーによるアルツハイマー発症の病態をターゲットとする治療法、創薬の研究に用いることが可能です。
 - ※2 マイクロダイアリシス法
臓器の局所における細胞外液中の物質について透析膜を介して回収し、ターゲットとなる物質の濃度を測定する方法です。

※3 神経伝達物質

ニューロンと細胞との間で信号を伝達する脳内の化学物質です。セロトニン、ドーパミン、ノルアドレナリン、アセチルコリンがあり、睡眠、行動、記憶などの脳機能において重要な役割を持つ物質です。

以上